

## 徹底した省エネルギー社会の実現

施策	4-1 (1) 徹底した省エネルギー社会の実現	担当部局	くらし・環境部 環境政策課
----	----------------------------	------	---------------

### ❖ 目 標

- 県民、企業、団体等と連携し、様々な分野において省エネルギーの取組を促進します。


### ❖ 施策に関する指標

成果指標	現状値	目標値
県内の温室効果ガス排出量削減率（2013年度比）	（2022年度） 2025年3月頃公	△32.6%
エネルギー消費量（産業＋運輸＋家庭＋業務部門）削減率（2013年度比）	（2022年度） 2025年3月頃公表	△19.4%

## 徹底した省エネルギー社会の実現

活動指標	現状値	目標値
ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」アクション数	（2022年度） 367,008回	360,000回

◆ 施策推進の視点・主な取組

 **視点1** 脱炭素型ライフスタイルへの転換促進

① ライフスタイルの転換に向けた意識向上

---

- ・ 家庭部門の温室効果ガス排出削減に寄与する、県民の脱炭素型ライフスタイルへの転換のため、企業・市町・NPOなどとの連携により、県民運動ふじのくに COOL チャレンジ「クルポ」の充実やうちエコ診断などの取組を進めます。

## 1 現状・課題と県の施策

### 【現状・課題1】

- 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量の増加が起因とされる気候変動は、地球規模での異常気象や激甚災害を引き起こすなど、大きなリスクとなっています。
- 国連気候変動に関する政府間パネルは、地球の気温上昇を工業化以前に比べ 1.5℃に押さえるためには、2050年前後に二酸化炭素排出量を正味ゼロにする必要があると報告しています。これを受け、我が国では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする目標を掲げました。
- 本県では、2022年3月に「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」を策定し、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比で46.6%削減する目標を設定し、各種施策を展開しています。
- この高い目標を達成するためには、徹底した省エネルギー対策が必要であり、中でも温室効果ガス排出量の約17%を占める家庭部門における対策は目標達成のためには不可欠です。このため、県民が日々の暮らしの中で温暖化防止の取組を着実に実践し、ライフスタイルを脱炭素型に転換していく必要があります。

#### **視点1 脱炭素型ライフスタイルへの転換促進**

- 施策の方向性⇒家庭部門の温室効果ガス排出削減に寄与するため、企業・市町・NPOなどの連携により、県民の行動変容を促進する。

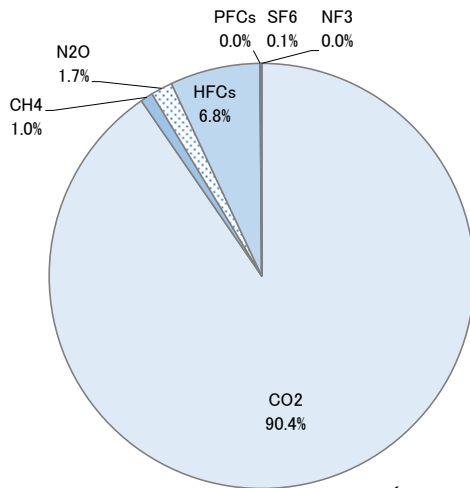
主な取組⇒脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた意識向上

(統計・分析等)

**1 温室効果ガスの排出状況**

(1) 温室効果ガスの内訳

温室効果ガスのうち、約9割を二酸化炭素が占めています。



CO<sub>2</sub>:二酸化炭素  
 CH<sub>4</sub>:メタン  
 N<sub>2</sub>O:一酸化二窒素

※【代替フロン類】  
 HFCs:ハイドロフルオロカーボン類  
 PFCs:パーフルオロカーボン類  
 SF<sub>6</sub>:六ふつ化硫黄  
 NF<sub>3</sub>:三ふつ化窒素

(2020年度県内データ)

(2) 二酸化炭素を排出する部門と排出源

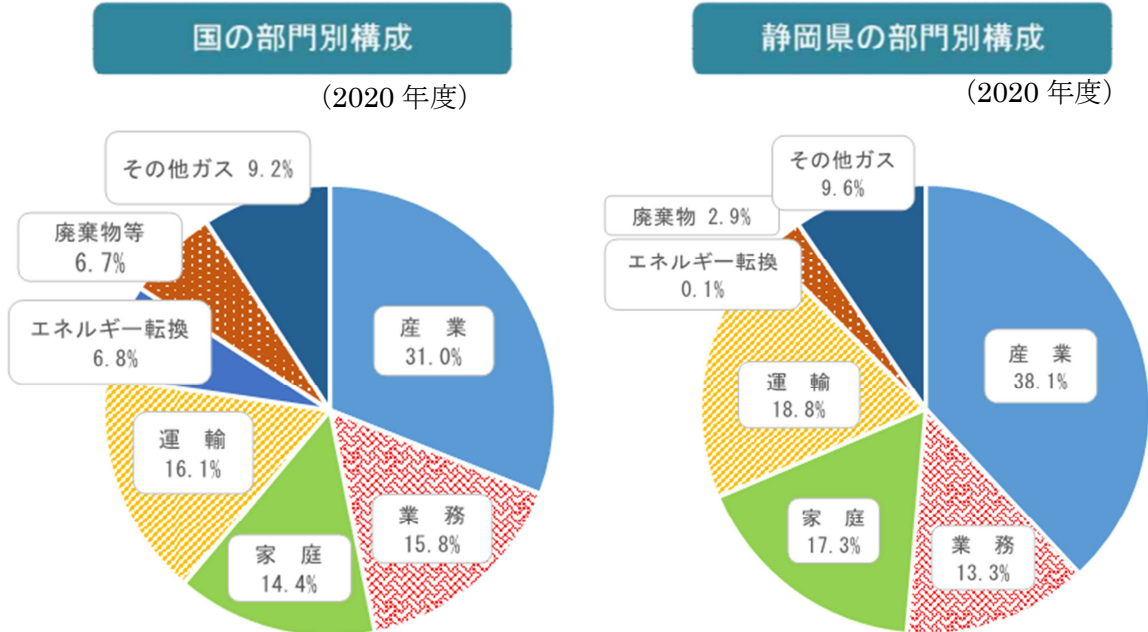
二酸化炭素の排出は、エネルギー起源と非エネルギー起源に分かれ、エネルギー起源は、産業部門、業務部門、家庭部門、運輸部門等から構成されています。

部門		排出源
エネルギー起源 二酸化炭素	産業部門	第一次産業及び第二次産業（農林水産業、鉱業、建設業及び製造業）の産業活動によるエネルギー使用
	業務部門	産業部門及び運輸部門に属さない企業・法人で、事務所、店舗、旅館・ホテルなど、主に商業やサービス業等の第三次産業の活動によるエネルギー使用
	家庭部門	個人・世帯の活動によるエネルギー使用（自家用自動車は運輸部門に算入）
	運輸部門	運輸に使用された、自動車（自家用自動車を含む）、鉄道、船舶、航空のエネルギー使用
	エネルギー転換部門	輸入ないし生産されたエネルギー源をより使いやすい形態に転換する工程におけるエネルギー使用（主に都市ガス）
非エネルギー起源 二酸化炭素	工業プロセス	セメントや生石灰製造などの化学反応により排出（県内では該当なし）
	廃棄物	廃棄物（一般及び産業）に含まれるプラスチック類の焼却処理により排出

## 4-1 脱炭素社会の構築

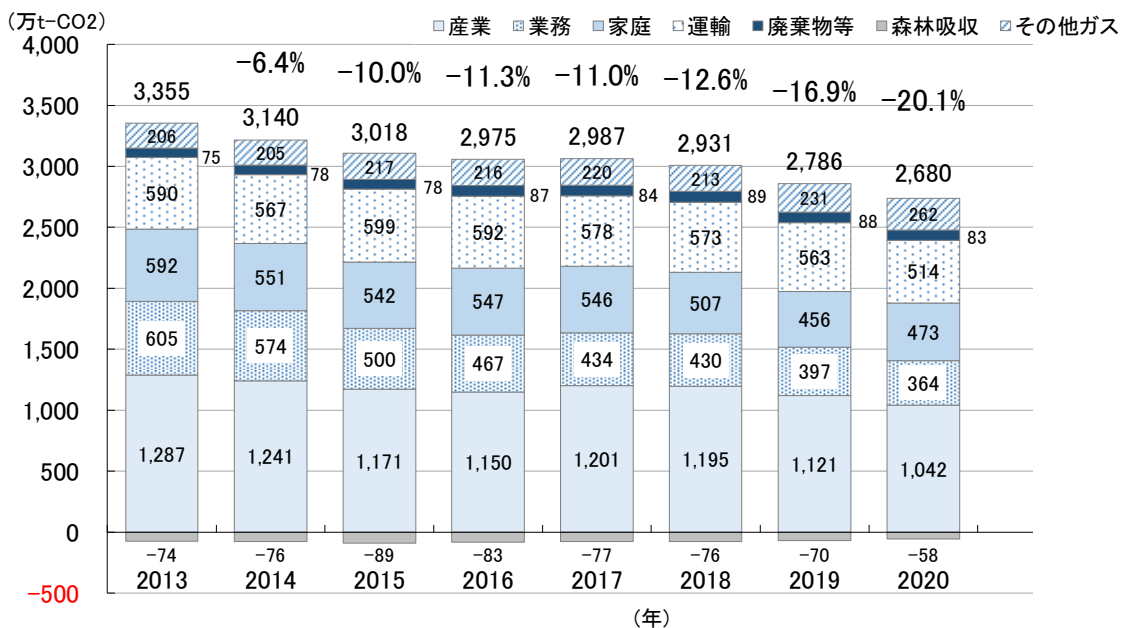
### (3) 国との部門別比較

本県の温室効果ガス排出量を部門別に見ると、産業部門が38.1%と最も多く、業務部門が13.3%、家庭部門が17.3%、運輸部門が18.8%となっており、全国と比較すると、本県はものづくり県であることなどから、産業部門の占める割合が高いことが特徴です。



### (4) 温室効果ガス排出量の推移

本県における温室効果ガス排出量は、減少傾向が続いており、2020年度の温室効果ガス排出量は2,680万t-CO<sub>2</sub>で、基準年度である2013年度から20.1%減少しています。



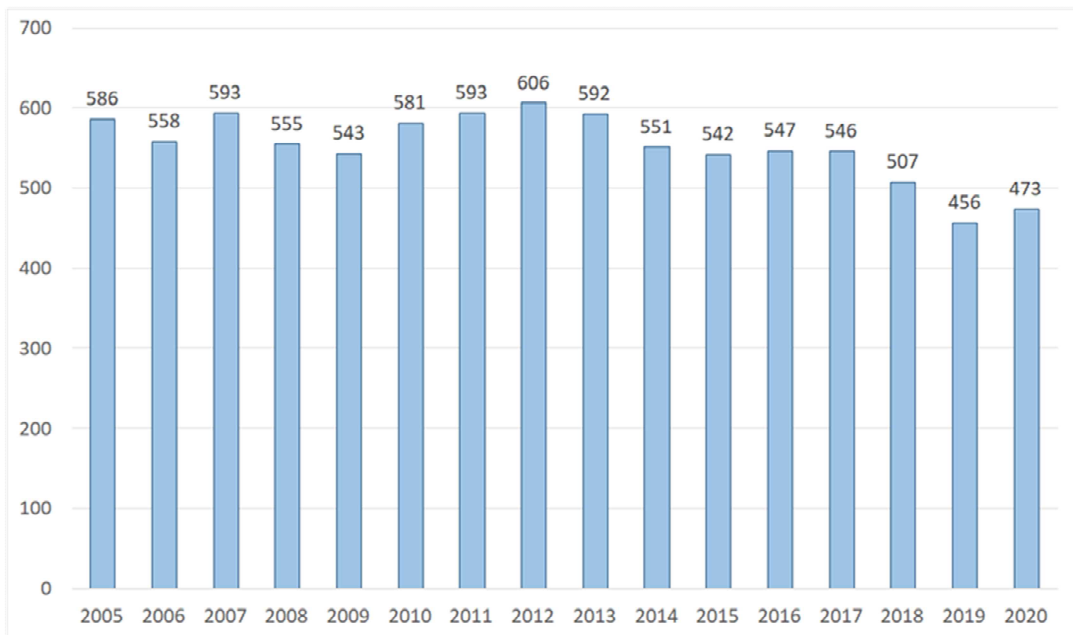
注：その他ガスは、メタン (CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)、代替フロン (HFCs、PFCs、SF<sub>6</sub>、NF<sub>3</sub>) を示す。

## 4-1 徹底した省エネルギー社会の実現

### (5) 家庭部門の排出状況

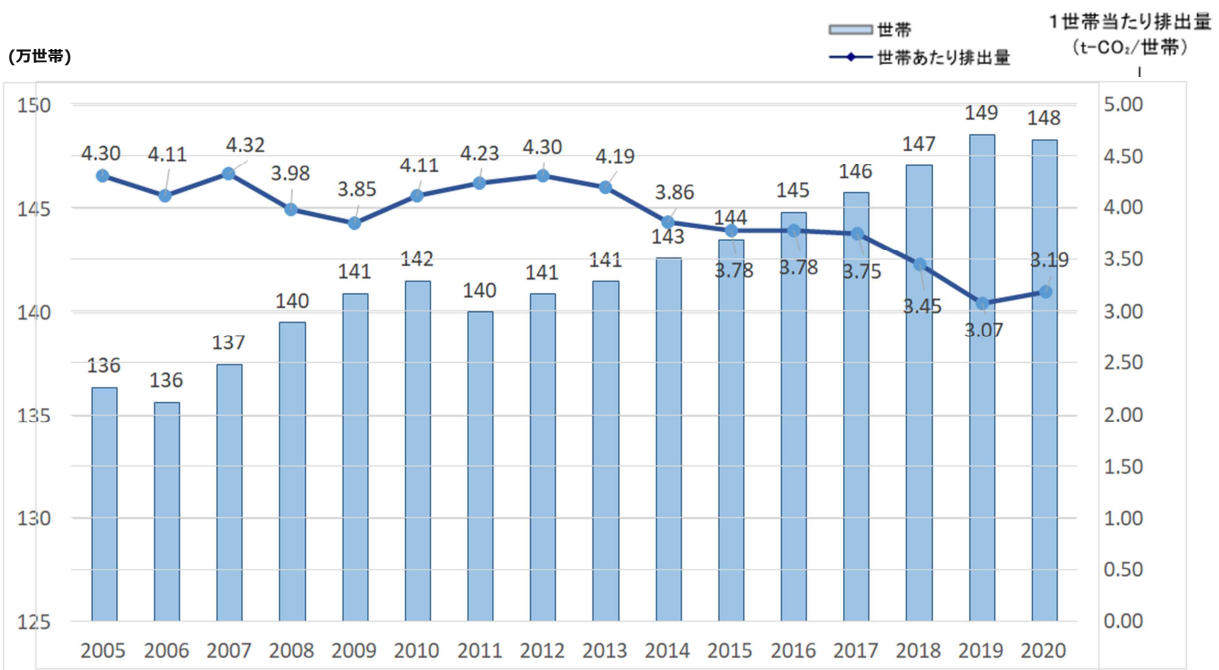
家庭部門は、温室効果ガス排出量全体の17.3%を占め、主要な排出要因は、構成比70%を占める電気です。2020年度の排出量は473万t-CO<sub>2</sub>で、2013年度以降、節電の定着や省エネ機器の普及等により減少傾向にありましたが、2020年度は、前年度から3.7%増加しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で在宅時間が増加したことが主たる要因と考えられます。

(万t-CO<sub>2</sub>)



家庭部門の排出量

単身世帯の増加等により、県内世帯数は増加していますが、世帯あたり排出量は、2013年度以降、省エネ機器の普及や電力事業者の脱炭素に向けた努力等により減少傾向にあります。



県内世帯数と世帯あたり温室効果ガス排出量

2 2030年度温室効果ガスの削減目標

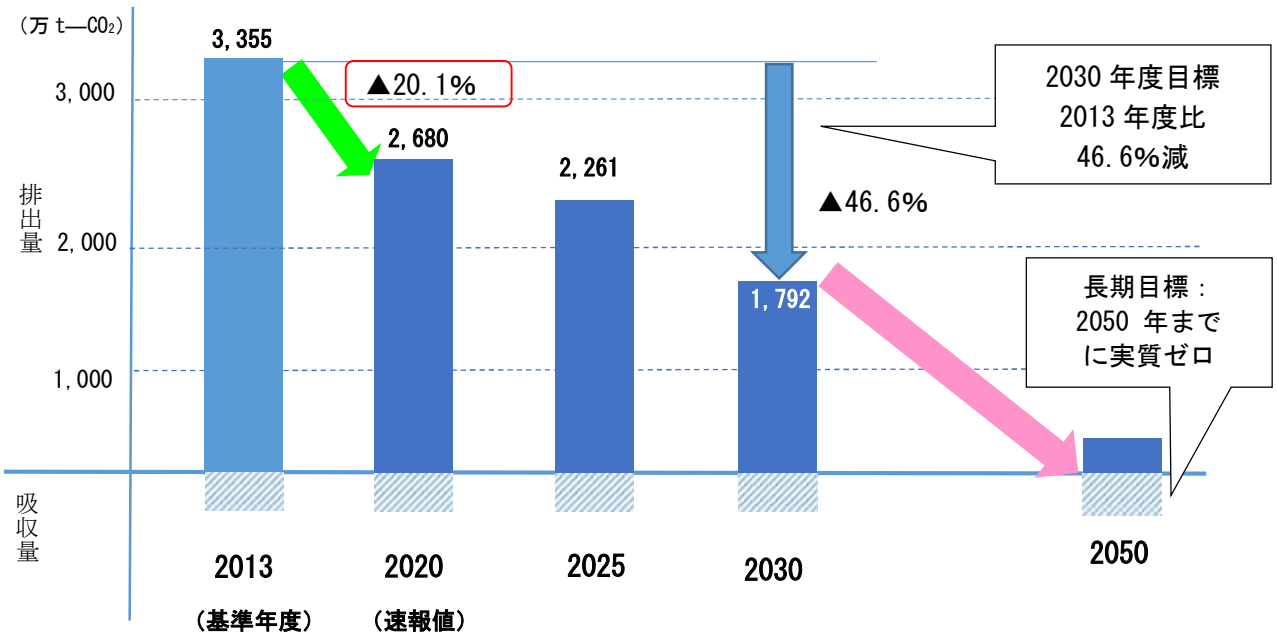
(1) 長期目標：2050年脱炭素社会の実現

本県は、「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」に基づき、2050年までに温室効果ガスの排出量を吸収量と均衡させて実質ゼロとする脱炭素社会の実現を目指します。社会全体を脱炭素社会にシフトチェンジしていくことで、将来の世代に安心して暮らせるための社会・自然環境を継承します。

(2) 温室効果ガスの削減目標（2030年度）

2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46.6%削減することとし、更なる高みを目指します。

(3) 削減目標を踏まえた脱炭素社会実現のイメージ



(4) 分野別削減目標

(単位：万 t-CO<sub>2</sub>、%)

部門	2013 基準年度 (A)	2020 現状値	2020 構成比	2030 現状趨勢 ケース (B)	2030 削減 見込量 (C)	2030 排出量 (D=B-C)	基準年比 削減率 (D/A)-1
産業	1,287	1,042	38.1	1,228	446	782	▲39.2
業務	605	364	13.3	416	233	183	▲69.8
家庭	592	473	17.3	525	214	311	▲47.5
運輸	590	514	18.8	557	126	431	▲26.9
廃棄物等	75	83	3.0	91	43	48	▲36.0
その他ガス	206	262	9.6	218	89	129	▲37.4
うち HFC	120	187	6.8	151	84	67	▲44.2
小計	3,355	2,738	-	3,035	1,151	1,884	▲43.8
吸収量	(△74)	△58	-	-	92	△92	-
計	3,355	2,680	-	3,035	1,243	1,792	▲46.6

「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画」施策体系

方針1 各部門の徹底した省エネルギー対策等の推進		(主な取組 (担当課))
産業・業務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆脱炭素経営への転換支援</li> <li>◆高効率機器・設備の導入などの省エネの推進</li> <li>◆建築物の省エネ化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業脱炭素化支援センターの設置 (エネルギー政策課)</li> <li>・グリーンボンド発行 (財政課)</li> <li>・中小企業等への省エネ機器・設備の導入支援 (環境政策課)</li> <li>・富士川・東駿河湾工業用水道の施設統合 (水道企画課)</li> <li>・県有建築物のZEB化の推進 (建築企画課・設備課等)</li> <li>・環境配慮措置に優れた建築物の整備促進 (建築安全推進課) など</li> </ul>
家庭部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ライフスタイルの転換に向けた意識向上</li> <li>◆住宅の省エネ化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民運動「ふじのくに COOL チャレンジ」の展開 (環境政策課) など</li> <li>・ZEHの普及促進 (住まいづくり課) など</li> </ul>
運輸部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自動車の環境負荷低減</li> <li>◆地域交通の脱炭素化</li> <li>◆物流における省エネの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車の普及促進 (エネルギー政策課)</li> <li>・自転車の利用の促進 (スポーツ政策課)</li> <li>・公共交通機関の利用促進 (地域交通課)</li> <li>・道路の渋滞対策の推進 (道路企画課等)</li> <li>・物流の脱炭素化の促進 (総合政策課)</li> <li>・港湾のグリーン物流促進 (港湾振興課等) など</li> </ul>
その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆循環型社会の形成</li> <li>◆フロン等その他温室効果ガスの削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3R、廃棄物適正処理の推進、サーキュラーエコノミーに向けた基盤づくり (廃棄物リサイクル課)</li> <li>・フロン類の漏えい防止 (環境政策課) など</li> </ul>
分野横断的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境教育の推進</li> <li>◆脱炭素型のまちづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場における取組の推進 (教育委員会)</li> <li>・都市計画における脱炭素化の促進 (都市計画課) など</li> </ul>
方針2 再生可能エネルギー等の導入・利用促進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域と共生した再生可能エネルギー導入への支援</li> <li>◆水素エネルギーの活用促進</li> <li>◆自立分散型エネルギーシステムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の導入促進 (エネルギー政策課)</li> <li>・公共施設への再エネの導入 (各施設所管課)</li> <li>・水素ステーション設置への支援 (エネルギー政策課)</li> <li>・脱炭素化に向けた港湾機能の高度化 (港湾企画課等)</li> <li>・バーチャルパワープラント(VPP)の社会実装に向けた取組 (エネルギー政策課)</li> <li>・住宅用太陽光発電・蓄電池の普及拡大 (エネルギー政策課) など</li> </ul>
方針3 技術革新の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境、エネルギー関連産業の振興</li> <li>◆新技術等の研究開発の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなエネルギー関連産業の創出支援 (エネルギー政策課)</li> <li>・CNFの研究開発、製品開発の促進 (新産業集積課) など</li> </ul>
方針4 吸収源対策の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林吸収源の確保</li> <li>◆森林資源の循環利用の促進</li> <li>◆緑化の推進、ブルーカーボン等その他の吸収源対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な森林整備の促進 (森林整備課等)</li> <li>・バイオマス利用への供給拡大 (森林整備課等)</li> <li>・都市緑化等の推進 (環境ふれあい課) など</li> </ul>



## 2 施策に関する県と市町、民間等との役割分担

区分	役割・取組等
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内組織として設置する「静岡県地球温暖化対策推進本部」は、「静岡県地球温暖化防止県民会議」の審議結果をもとに計画を策定し、施策を推進しています。また、各部局の温暖化防止に関連する施策の進捗状況の把握や情報交換等を行っています。</li> <li>・ 静岡県地球温暖化防止活動推進センターや地球温暖化防止活動推進員、市町等と連携して家庭部門対策に取り組んでいます。</li> </ul>
県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らのエネルギー消費量や温室効果ガス排出量を把握し、エネルギー消費量の少ない脱炭素型のライフスタイルへ変革することが必要です。</li> <li>・ 地球温暖化対策への理解を深めるとともに、温室効果ガス排出抑制に向けて、県民一人ひとりが具体的に行動することが求められます。</li> </ul>
県地球温暖化防止活動推進センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき県が指定する機関として、本県における地域密着型の温暖化対策を推進し広域的な普及啓発を行います。</li> <li>・ 地球温暖化防止に関する普及啓発のほか、各種団体の取組に対する助言・支援、日常生活に関する温室効果ガスの排出実態の調査・分析等を行います。</li> <li>・ 温室効果ガス排出量の排出抑制を効果的に推進するため、県や市町等と協働し、様々な施策を積極的に推進します。</li> </ul>

3 主な取組

**視点1** 脱炭素型ライフスタイルへの転換促進

	脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた意識向上	担当課名	くらし・環境部環境政策課	
目的 (何のために)	家庭部門の温室効果ガス排出削減に寄与するため、企業・市町・NPO などの連携により、県民の行動変容を促進します。			
取組内容 (手段、手法など)	取組1：県民運動「ふじのくに COOL チャレンジ」の展開		(P.16 参考資料)	
	スマートフォン等のアプリ「クルポ」の機能を充実し、企業、市町、関係団体と連携して、家庭部門や業務部門における地球温暖化防止に向けた取組を進める「ふじのくにCOOLチャレンジ」を展開しています。			
	(1) アプリ「クルポ」の概要			
	地球温暖化対策となる行動「脱炭素アクション」をするとポイントがつき、30ポイントたまると、賞品が当たる抽選に参加できる無料アプリ。県民の方が、楽しみながら気軽に「脱炭素アクション」に取り組めるよう、2018年6月に運用開始。			
	2023年2月には、アプリの魅力向上のため、利用者や大学生の意見等を踏まえ、全面リニューアルし機能を拡充。			
	(2) 推進体制			
	県内63団体で構成する実行委員会により運営しており、県地球温暖化防止活動推進センターが事務局を務める。			
	委員長	静岡県地球温暖化防止活動推進センター長 佐藤 博明 (元静岡大学学長)		
	副委員長	静岡県くらし・環境部長 高畑 英治		
	構成員	行政(県・市町)36団体、民間企業12社、事業者団体6団体、市民団体等5団体、県内民放テレビ局4社 計63団体		
事務局	静岡県地球温暖化防止活動推進センター			
(3) 登録者数等の実績				
年度	登録者数	脱炭素アクション回数		
2018年度	4,077人	43,251回/年		
2019年度	8,354人	86,571回/年		
2020年度	11,728人	159,518回/年		
2021年度	15,612人	229,383回/年		
2022年度	28,098人	(旧) 18,417人	367,008回/年	(旧) 165,389回
		(新) 9,681人		(新) 201,619回
計	-	885,731回		
旧：リニューアル前(2022年4月1日～2022年12月31日)				
新：リニューアル後(2023年2月1日～2023年3月31日)				
※旧クルポから新クルポへの登録者引き継ぎはできない。				



取組2：うちエコ診断の実施(令和4年度新規)

(P.20 参考資料)

「うちエコ診断」により、家庭のエネルギー使用量や用途を診断し、省エネルギー対策のアドバイスを実施します。利用者は、エネルギー使用量等を把握（見える化）し、その後の対策につなげます。

(1) うちエコ診断の概要

各家庭の情報を入力すると、その地域での類似世帯と比較した光熱費・CO2 排出量ランキングや、暖房や給湯など各分野に合わせた対策とその削減効果がわかる「うちエコ診断ソフト」を使い、環境省が認定した「うちエコ診断士」が、各家庭で実態に合わせた具体的対策をともに考え実施を促す。

(2) 2022 年度実施実績

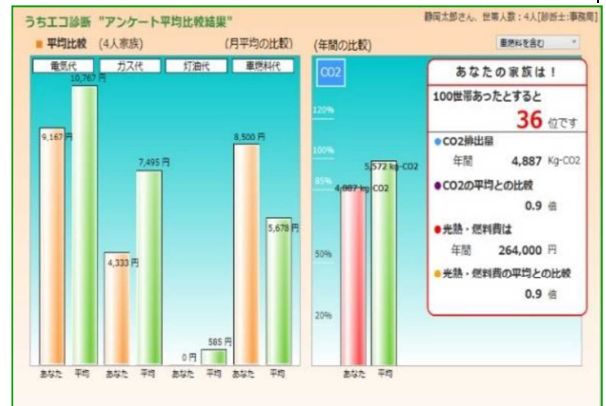
ア 件数 102 件 ※ その他、WEB による自己診断：909 件

イ 診断士による対面診断の実施状況（2022 年度）

日程	イベント名・内容等	診断数
4月17日	しずおか SDGs フェスタ	26
6月25日	環境フェスタ”もったいない”2022 in ふじえだ	10
6月25日	ふれる、まなぶ。ひろがる SDGs。	10
7月13日	磐田市 訪問診断	2
9月3日	ゼロカーボンシティ「オール富士宮」フェア	10
10月18日	袋井市役所	4
11月12日	島田産業祭	8
11月13日	小山町商工祭	9
11月13日	袋井市ふれあい夢市場 2022	10
11月27日	牧之原環境フェア	12
12月14日	富士宮市 訪問診断	1
合計		102



袋井市役所での診断の様子



うちエコ診断士による診断画面の例

取組3：省エネ・節電講座の実施（令和5年度新規）

（P.25 参考資料）

家庭での省エネ推進や電力供給逼迫対策として、ミニ動画などの啓発ツールを活用しながら、省エネ・節電講座等を開催することで、県民の行動変容を促します。

（1）概要

項目	対象及び内容	講師
（1）中学生向け講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内中学校を対象に20回</li> <li>・温暖化の状況や対策等について、グループワークも交え講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県地球温暖化防止活動推進センター</li> </ul>
（2）地域省エネ・節電講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で予定されている会合の場合（自治会、保護者会、老人会、各種教室など）50回</li> <li>・動画を活用し、身近な節電対策を中心としたミニ講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止活動推進員等の環境学習リーダー等</li> </ul>

（2）講座の内容

ア 中学生向け講座

時間	50分間／回	
内容	<p>○約15分間：座学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の天気予報</li> <li>・地球温暖化とは</li> <li>・地球温暖化の影響（世界・日本・静岡の例）</li> <li>・対策（緩和・適応について、自分にできること）</li> </ul> <p>○約30分間：グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エシカル商品／サービスを選び、グループでPRを考えて発表する</li> </ul>	

イ 地域省エネ・節電講座

実施者・場所	地球温暖化防止活動推進員等の環境学習リーダー等が講師となり、地域の会合や職場朝礼などの場で実施
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電と省エネの違い</li> <li>・電気代を抑える工夫（家庭の電気使用量、エアコンの使い方）</li> <li>・電気を使わない涼み方</li> </ul>



講座スライド

啓発動画

取組4：環境学習ポータルサイトの構築・活用（令和4年度構築）（P.29 参考資料）

ライフスタイルへの転換に向けて、地球温暖化を含む環境に関する総合的な情報を提供するため、環境学習ポータルサイト「ふじのくに環境ラボ」を構築し活用を進めている。

(1) ポータルサイトの概要

- ア 開設日 2023年3月30日
- イ 対象者 小中学生、保護者、教育関係者、  
環境保全活動に興味のある・参加したい方
- ウ 掲載内容



項目	内容	特徴
環境学習コンテンツ※	5分野(地球温暖化、自然共生、資源循環、生活環境、大気・水質)別に本県の取組や事例を掲載	動画やクイズ等を活用しながら、小中学生が楽しく分かりやすく学習できる
地域の実践活動紹介	県民が参加可能なNPO、企業等の環境保全活動の取組を紹介	県内26団体を紹介
学習施設紹介	環境学習施設を紹介	民間団体も含め37施設を紹介し、幅広く検索可能
イベント紹介	環境保全等に関連するイベント紹介	実際に活動に参加したい方や興味を持つ一般の方が活用可能
指導員紹介	地域や学校で開催される学習会の講師として活動する環境学習指導員、森林環境学習指導者、地球温暖化防止推進員等を紹介	様々な条件で検索し、直接講師を依頼することができる。 (約150人登録)

※環境学習コンテンツの概要

内容	<p>「地球温暖化」「自然共生」「資源循環」「水循環」「大気・水質」の分野別に現状、原因、身近でできる取組などを掲載。環境問題の全体像や各分野の基礎的な学習の場としている。</p> <p>なおコンテンツ等の作成にあたっては、教育委員会と連携し構成等を検討し、本県の課題や取組が分かりやすく学べるサイトとしている。</p> <p>①分野別導入動画（各分野1～2分程度×2本） ②分野別学習（現状、原因、対策、身近でできること等） 本県独自の自然資源・取組についても紹介 ③クイズ（各分野10問程度を出題） *更なる学習のため、各課取組紹介ページや環境省HP等へリンク リンク先例：6R県民運動、Rのある暮らし、南アルプスの魅力発信</p>
活用例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的学習の時間に、各生徒が環境問題について学び、発表・意見交換</li> <li>・自由研究等家庭での学習等</li> </ul>

取組5：若者の人材育成「高校生カーボンニュートラル・ラボ」(令和5年度新規)

(P.32 参考資料)

本県の将来を担う若い世代を中心に、ライフスタイル転換に向けた中核的人材を育成するため、静岡大学カーボンニュートラル推進チームと連携し、若者が参画する「高校生カーボン・ニュートラル・ラボ」を開設。

(1)「高校生カーボン・ニュートラル・ラボ」

ア 概要

環境問題に関心のある高校生が参加してチームを結成し、大学生がサポーター、大学教員がアドバイザーとして支援しながら、チームごとに、脱炭素につながる仕組みやグッズ、アプリなどを企画、発表する。

イ 運営体制

関係団体で構成する実行委員会を設置し、連携して実施

【メンバー】

- ・ 静岡大学
- ・ 静岡県地球温暖化防止活動推進センター
- ・ (一社) 静岡県環境資源協会
- ・ 静岡県教育委員会 (高校教育課)
- ・ 静岡県 (くらし・環境部環境局)
- ・ (公社) ふじのくに地域・大学コンソーシアム



ウ スケジュール

日程	会場	内容
<b>I キックオフ・イベント</b> 6月17日(土)、24日(土) 7月1日(土)、2日(日) 13:00～、いずれか1回参加	静岡大学	・ チーム結成 ・ 大学教員による講義 等
<b>II 中間発表①</b> 7月29日(土) 13:00～	静岡大学	・ テーマや工程の発表 ・ アドバイザー等からの助言
<b>III 中間発表②</b> 11月4日(土) 13:00～	静岡大学	・ 中間成果の発表 ・ アドバイザー等からの助言
<b>IV 最終発表</b> 3月16日(土) 13:00～	静岡大学	・ 成果発表 ・ 支援企業等とのマッチング

※ 随時、チームごとに WEB 会議等でミーティング、作業

エ 高校生の参加人数及び大学生人数 (2023年7月29日時点)

高校生：43人 (17校)

大学生：15人 (静大、県大、東海大 (県外))

## 4 主要事業

事業名	重点項目	2023 予算額(千円)
脱炭素社会実現 推進事業費 (脱炭素ライフ スタイル転換)	家庭向け啓発ツール開発 ・ 講座実施時の配布用パンフやミニ動画等を行動科学の知見を活用して作成	2,950
	環境教育、省エネ・節電講座 ・ 上記啓発ツールや静岡県環境学習ポータルサイトを利用した環境教育や省エネ講座を実施	1,970
	地域脱炭素化の実現を担う人材育成 ・ 高校生・大学生が参画するワークショップによる中核的人材の育成	5,000
その他取組を含めた合計		18,620

＜県民運動「ふじのくに COOL チャレンジ」の展開＞

(1) アプリ「クルポ」の仕組み



クルポのしくみ

- STEP 1 **アプリをダウンロード!**
- STEP 2 **楽しく脱炭素アクション!**
- STEP 3 **ポイントをためて!**
- STEP 4 **ステキな賞品が当たる抽選に参加!**



賞品は地元スーパーの商品券、レストランのお食事券、QUOカード、図書カード、企業から提供された企業賞など。商品券等はできるだけ県内企業から調達するが、全県での実施にあたり、どの地域でも使用できるQUOカード等も賞品に加えています





(2) ポイントが獲得できる「脱炭素アクション」メニュー（スポット数は4,600か所以上）

区 分	内 容
えねシェア	県内公共施設等でのクール/ウォームシェア
リサイクルBOXを使う	スーパー等のリサイクルBOXでの分別
プラスチックを減らす	県内セブンイレブン等でレジ袋を断る
食事を食べきる	食べきりによる食品ロス削減
公共交通機関の利用	バス、電車の利用
省エネ・再エネ機器を買う	省エネ家電、LED電球等の購入
環境イベントに参加する	実行委員会が認定する環境イベントへの参加
再配達防止の取組	郵便局の宅配ロッカー「はこぼす」を利用し再配達を防止

(3) アプリ「クルポ」のリニューアル

2023年2月、クルポは新しいアプリに生まれ変わりました！  
ユーザーや県内大学生の意見を取り入れて、より楽しく使いやすくなりました！



大学生との意見交換会の様子

○リニューアルの内容

ホーム画面の改善や新たな機能を追加

操作がわかりやすい画面

ホーム画面

獲得したポイントが一目でわかる

クルポの基本、「ポイント进行貯める」・「ポイントを使う」が分かりやすく、確認しやすい

ポイントを獲得するためのQRコードの読み込みがワンクリックで

ポイント獲得スポットをワンクリックで確認

## new! 継続活用のための機能

- ◆ 自分の行動を見直す「毎日エコチェック」をはじめ、「エコクイズ」「環境家計簿」など、ポイント獲得スポットに行かなくてもアプリで**日常的に取り組めるアクションが増える**ことで、継続的にアプリを活用し脱炭素ライフを身近に



## new! CO<sub>2</sub>削減量を見える化した機能

- ◆ 個人のCO<sub>2</sub>削減量を、「あなたの成果」として累積で表示するほか、**新たに「みんなの成果」として、**クルポユーザー全体のCO<sub>2</sub>削減量を示す機能を追加
- ◆ 「**東海道に木を植えよう**」というアプリ内の仮想空間の中で、みんなのCO<sub>2</sub>削減合計に応じて県内の東海道に植林



new!

## ゲーム性を持った機能

- ◆ 「ふじっぴーのエコ生活」とはクルポアプリ内の仮想空間。脱炭素アクションでためたポイントに応じて省エネ商品を購入したり環境に配慮した設備を家に設置したりできる
- ◆ 様々な脱炭素アイテムを獲得していきながら、仮想空間の中でカーボンニュートラルを実現していくゲーム

### ふじっぴーのエコ生活



#### (4) 外部評価（受賞歴）

- ・ 2020年12月9日、環境省主催「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」キャンペーンにおいて、「ふじのくに COOL チャレンジ実行委員会」が普及啓発部門の最優秀賞を受賞。
- ・ 2023年3月15日、日本経済新聞社が主催する「NIKKEI 脱炭素アワード 2022」において、クルポの取組がプロジェクト部門で大賞を受賞。



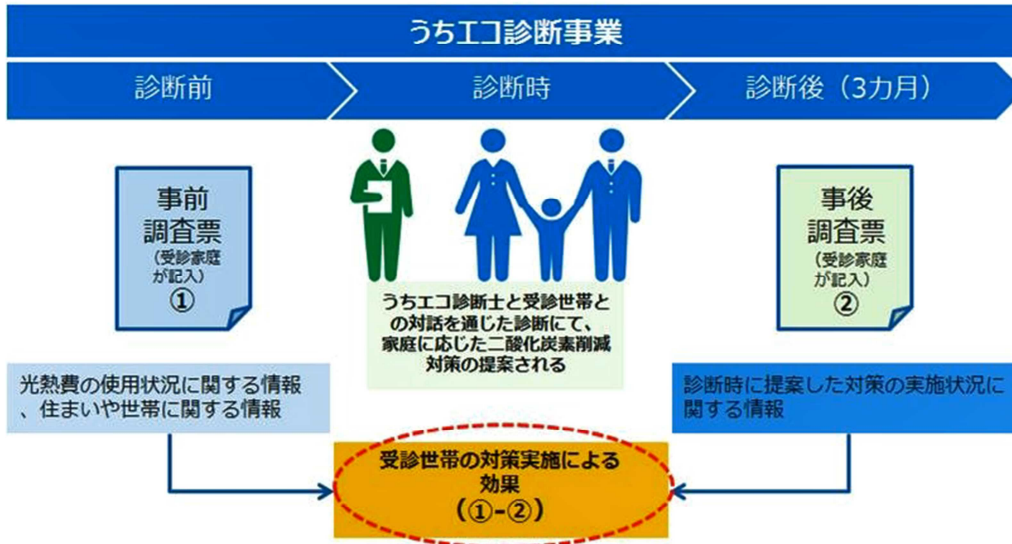


イ うちエコ診断の効果 (出典:全国温暖化防止活動推進センターHP)

国のデータ

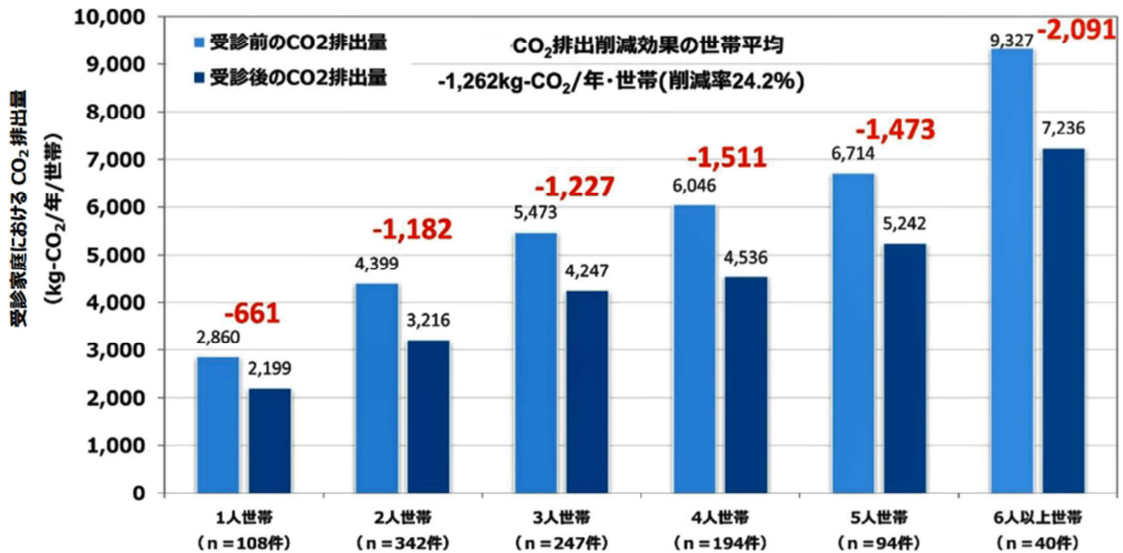
うちエコ診断における効果の考え方

うちエコ診断では、診断時に「うちエコ診断士」が「うちエコ診断ソフト」に基づいて受診家庭に応じた二酸化炭素削減対策を提案しています。診断後3カ月を目途に、受診世帯に対してどのような対策を実施したかの調査を行い、対策の実施結果をもとに事業全体としての効果を算定しています。



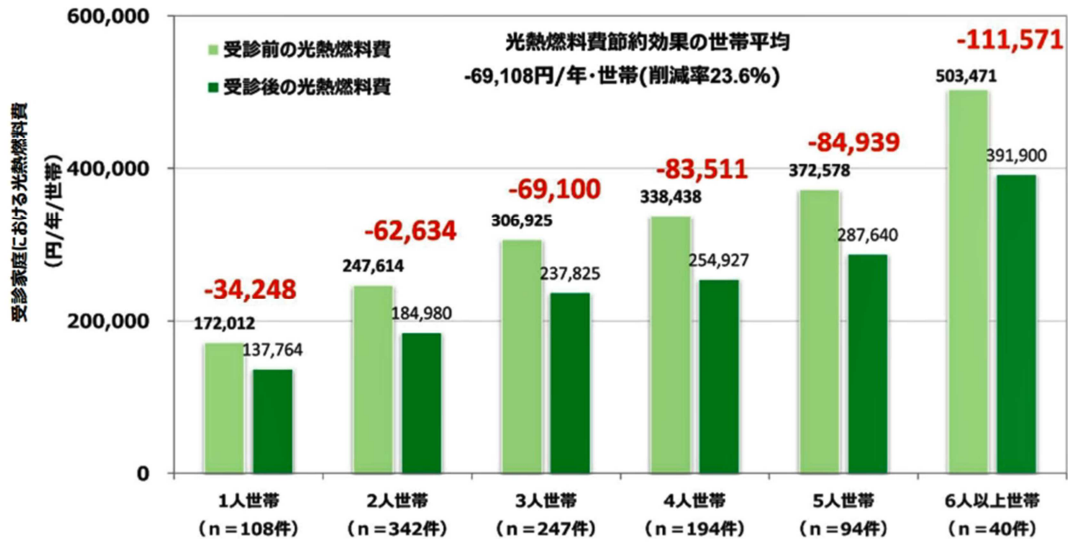
二酸化炭素排出削減量 (令和3年度)

2021年度の1世帯当たりのCO<sub>2</sub>排出削減効果は、1,262kg-CO<sub>2</sub>/年・世帯となり、受診前のCO<sub>2</sub>排出量の24.2%の削減効果となった。



光熱燃料費節約金額（令和3年度）

2021年度の1世帯当たりの光熱燃料費節約効果は、69,108円/年となり、受診前と比較すると23.6%の節約効果となった。

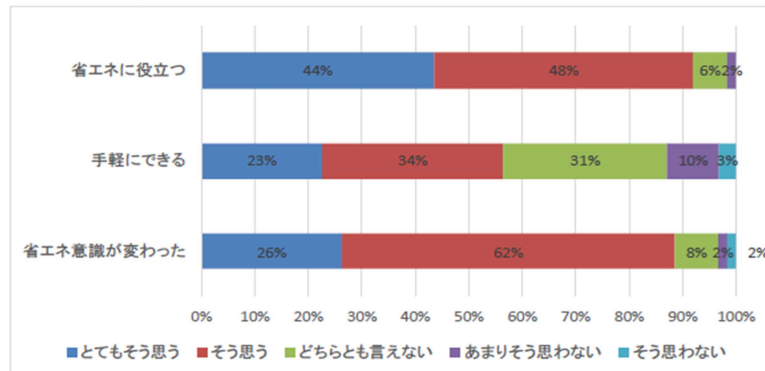


※光熱燃料費には、設備投資金額費用は含まれておりません。

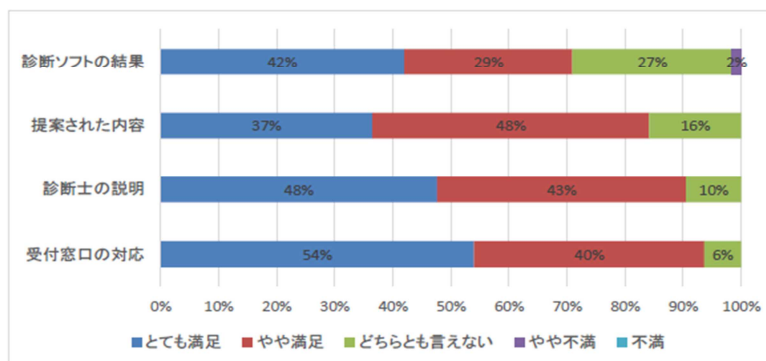
県のデータ

ウ 令和4年度事後調査票によるアンケート結果（県内）

問1 診断で提案させていただいた対策に取り組みましたことで、うちエコ診断をどう思いましたか？



問2 受診後の満足度はいかがですか？



事後調査票から算出した CO2 排出削減効果

<単位：kg-CO2/年>

診断前 CO2 排出量	診断後 CO2 排出量	CO2 排出削減効果	1世帯あたり平均削減効果
307,616	146,019	161,597	2,486

※小数点以下切り捨て

(2) うちエコ診断 WEB サービス (自己診断) の概要

うちエコ診断 WEB サービスは環境省が提供しており、パソコン、スマートフォン、タブレット端末を用いて自己診断を行うことができる。



# うちエコ診断

サービス利用は無料!

あなたの光熱費、**年間6万円** 損しているかも!?

※うちエコ診断の診断後アンケート結果から算出

**たった3分で簡単に!** (※診断時間は個人差があります)

**うちエコ診断 WEB サービスは、あなたのおうちの光熱費削減につながる効果的な取り組みがわかります。**



ほかのご家庭の平均と比較できる!



あなたに合ったオトクな対策がわかる!



がんばり度がランキングでわかる!

まずはお試しください!

アクセス数上昇中!

パソコン、スマートフォン、タブレット端末からご利用いただけます。  
※登録不要、以下のサイトにアクセスするだけ! <https://webapp.uchieco-shindan.jp/>

QRコードはこちら →  または

うちエコ診断

■ご利用環境  
パソコン: Windows, Mac, Linux  
スマートフォン: iOS (iPhone/iPad) 10.0以降  
Android: Android 5.0以降  
ブラウザ: Chrome, Edge, Safari, Firefox

※QRコードが読み取れない場合は、必ずインターネットに接続できる環境でアクセスしてください。

家庭から気候変動問題に具体的な取り組みを!

うちエコ診断は、SDGsの17目標のうち、特に  
「目標7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」  
「目標12 つくる責任つかう責任」  
「目標13 気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献しています。

こんなことが分かります！

うちエコ診断 WEB サービスは、

住まいやライフスタイルから、光熱費を減らせるところが一目でわかります。  
また、「どこから」「どのくらい」二酸化炭素が排出されているのか一目でわかります。  
住まいのお悩みに合わせた診断や、省エネ家電の買換えシミュレーションを行うこともできます。

**排出内訳のチェック**  
たくさんエネルギーを使っているのはどこ？

主な排出(CO<sub>2</sub>内訳)

6000	■ 風呂(20.4%)
4500	■ 洗面(14.4%)
3000	■ 洗濯(11.4%)
1500	■ 照明(7.4%)
1000	■ 換気(7.4%)
750	■ 冷蔵庫(5.4%)
600	■ 空調(4.4%)
450	■ 給湯(3.4%)
300	■ 給湯(3.4%)
150	■ 給湯(1.4%)
75	■ 給湯(0.7%)

エアコンは部屋のCO<sub>2</sub>排出の割合を占めています。冷暖房の稼働状況を確認してください。

CO<sub>2</sub>排出削減のポイントは、CO<sub>2</sub>排出の割合が高い場所から削減することです。

照明(20.4%)、風呂(14.4%)、洗面(11.4%)、洗濯(7.4%)の削減がポイントです。この4つの削減が、CO<sub>2</sub>排出削減の鍵となります。削減の目安は以下の通りです。

**おすすめの対策**  
わが家におすすめな対策は？

削減をする時間を1時間短くする数値が目安となります。

**削減の目安**

照明はつぎの目安を参考にしてください。明るくしすぎると、電気代が高くなるので、明るくしすぎないようにしましょう。

エアコンは部屋のCO<sub>2</sub>排出の割合を占めています。冷暖房の稼働状況を確認してください。

**効果 (162kg削減)**

毎週162kgのCO<sub>2</sub>削減が可能です。これは削減率換算の2%削減に相当します。

削減の目安

- 照明の目安
- エアコンの稼働
- エアコンの稼働
- エアコンの稼働

エアコンの稼働状況を確認してください。

**住まいの悩みに合わせた診断**  
住まいの悩みも解決！

うちエコ診断メニュー (全機能)

家の気になる点の記入と診断

- エアコン・冷暖房の悩み
- 照明の悩み
- 洗面・トイレの悩み
- 風呂の悩み
- 洗濯の悩み
- 給湯の悩み
- 冷蔵庫の悩み
- その他

アプリを起動して、診断を開始することができます。



うちエコ診断を受診された方のご意見

- ・どんな対策をとるとどのくらい光熱費・CO<sub>2</sub>排出量が下がるかがよく分かった。
  - ・家庭ごとに具体的な対策を示してくれるので分かりやすいと思いました。
- (うちエコ診断の診断後アンケート回答結果より)

もっと詳しく知りたい！具体的に教えてほしい！

具体的な方法を相談したい！もっと詳しく知りたい！という方は、うちエコ診断士によるアドバイスをご活用ください！  
家庭の省エネ・省CO<sub>2</sub>対策の専門知識を身につけた「うちエコ診断士」(環境省公的資格)が、あなたのなぜ？どうして？にわかりやすくお答えします。

対面での診断はちょっと・・・という方には、WEB 会議システムを使用したオンライン診断も実施しています！



うちエコ診断のお申込みはこちら

<https://www.uchieco-shindan.jp/jushin/choice.php>





<省エネ・節電講座の実施>

(1) 中学生向け講座

①講座内容

時間	50 分間／回
内容	<p><b>○約 15 分間：座学</b></p> <p><b>未来の天気予報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100 年後の未来では気温の上昇、台風や大雨の増加が起きている可能性がある</li> </ul> <p><b>地球温暖化とは「地球の平均気温が上がっている状態」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 170 年間で世界平均気温が 1.09℃上昇</li> <li>・ 静岡県では 100 年あたり約 2.4℃の上昇</li> </ul> <p><b>地球温暖化の影響（世界・日本・静岡の例）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害や動植物への影響</li> <li>・ 県の名物や特産品への影響</li> </ul> <p><b>温暖化の原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温室効果ガスとは？</li> <li>・ 二酸化炭素はどこからでているか？－電気・ガス・ガソリン・ごみ 等</li> </ul> <p><b>対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緩和・適応について</li> <li>・ 自分たちにできること</li> </ul> <p><b>○約 30 分間：グループワーク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品／サービスを 1 つ選び、グループで PR を考えて発表する</li> </ul> <p>例 服、トイレトペーパー、テーマパーク、料理 等</p>



### 静岡の名物・特産品にも影響が・・・？

- ★山頂周辺の永久凍土が近年急速に減少  
★植生の変化  
★森林限界の上昇傾向も
- ★少雨や高温で生育抑制・時期ズレ  
★極多による芽の不揃い（一摘収での摘芽が難しく）
- ★栽培適地が北上  
★浮き皮などで味や香気に影響が出る
- ★水温が上がると病気の発生増  
★葉や茎の茂り具合や太さ・味等に影響が出る

他にも、サクラエビ・ノリ・ひじきなどの特産品がとれにくくなる、今まで作れなかった寒いところでおいしいお米がとれるなど変化が既に。

### 対策。この2つはどちらも大切、どちらも急ぎ。

**緩和**とは？ 原因を少なく  
**適応**とは？ 影響に備える

2つの気候変動対策

緩和策の例：節電・省エネ、エコカーの普及、森林を増やす、CO2削減、OFF、再生可能エネルギーの活用

適応策の例：感染症予防の対策、熱中症予防、農産物の品種改良、水利用の工夫、品種改良や栽培

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を強力抑制すること（緩和）が重要で、緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要で、

緩和策と適応策  
国立環境研究所(A-PLAT)HPより

- ・熱中症対策
- ・気象災害防災（天気予報やハザードマップをチェック）
- ・品種改良
- ・虫刺され防止 など

### 本日のミッション Mission Possible

①グループで1つ  
**脱炭素な商品** または **サービス** を  
選びます

※脱炭素・・・先ほどのCO<sub>2</sub>を出さないようにする  
(材料を集めるとき/作る時  
/使うとき/運ぶとき  
/捨てる時・・・どこでもOK)

### 本日のミッション Mission Possible

②その商品 または サービスについて  
お客様が使いたくなる、  
買いたくなるような

- ★キャッチコピー（“良さ”を表す言葉/キーワード）
- ★脱炭素なポイント（どこが・どうエコか？）
- ★パッケージやPOP（看板・チラシ等の宣伝物）

を考え、  
A3の用紙1枚に記入して下さい。

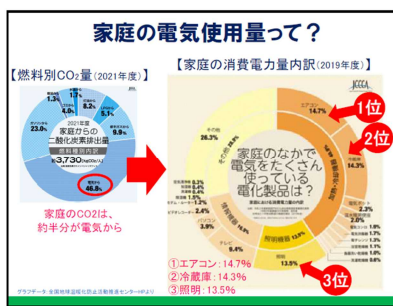
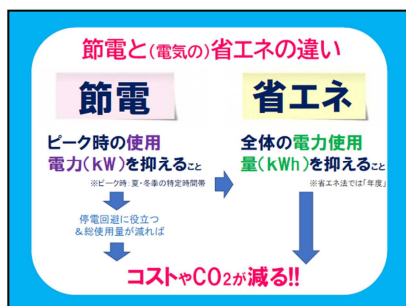
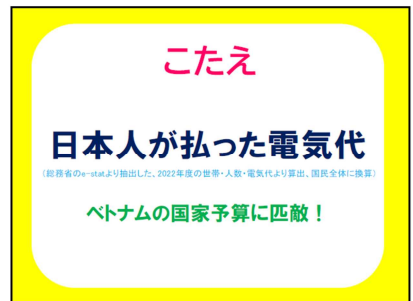
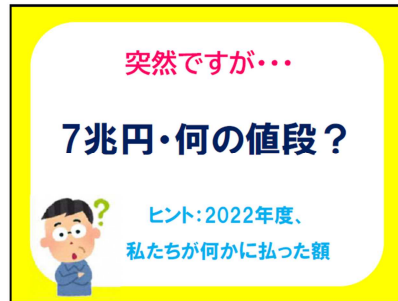
②参加した中学生の声

- ・地球温暖化がこんなに深刻なものだとは思わなかったし、こんなに身近だとは思わなかった。
- ・地球温暖化の対策に緩和策・適応策というものがあるということを知った。
- ・地球温暖化のために今、どんなことが行われているのかをもっと知りたいと思った。

(2) 地域省エネ・節電講座

①講座内容

<p>実施者・場所</p>	<p>地球温暖化防止活動推進員等の環境学習リーダー等が講師となり、地域の会合や職場朝礼などの場で実施</p> <p>講師となる環境リーダーは事前に講座内容や進め方のレクチャーを受ける</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ 7兆円は何の数字か</li> <li>・クイズ 節電と省エネの違い</li> <li>・使用電力の多い家電</li> <li>・電気代を減らす工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>—設定温度を下げるより風量を上げる方が省エネ</li> <li>—設定温度を1℃上げると約10%の省エネ</li> <li>—扇風機やサーキュレーターの併用</li> <li>—熱が入り込む窓やドア周りの整備 等</li> </ul> </li> <li>・電気を使わない涼み方             <ul style="list-style-type: none"> <li>—冷涼グッズ、地域の涼みスポット、食材</li> </ul> </li> </ul> <p>☆講座を通し、参加者に対して問いかけたり地元の情報を交えたりすることで行動を起こしやすくする</p>



上位3つで、みなさんがやっていることは？

①エアコン ②冷蔵庫 ③照明

- ✓ 設定温度調節
- ✓ 使う時間短縮
- ✓ 省エネタイプエアコンに買換え
- ✓ 開閉時間短く
- ✓ 開閉回数を減らす
- ✓ 冷蔵庫には物を詰めすぎない
- ✓ こまめにオフ
- ✓ LEDに買換え
- ✓ 家族で1部屋に集合する

静岡県民の約74%が「無理ない範囲で冷蔵庫を控えめにしています！」

②節電・省エネ動画

手軽に実践できる節電・省エネの工夫について紹介する 30 秒程度の動画を作成し、省エネ・節電講座等で活用。



＜環境学習ポータルサイトの構築・活用＞

○サイトの掲載内容

静岡県 環境学習ポータルサイト kankyolab.pref.shizuoka.jp

# ふじのくに環境ラボ

2023.3.30  
公開！



ふじのくに環境ラボってなに？

静岡県による、地球温暖化などの環境問題に関する学習コンテンツ、学習施設、環境課題に取り組む団体などの情報を見やすくまとめたポータルサイトです。学習コンテンツでは、分野別に動画やクイズなどを通じて、たのしく、分かりやすく環境について学ぶことができます。



特徴①

学習コンテンツでは、地球温暖化など5つの分野ごとに、本県の取組や事例を多く掲載しています。

特徴②

1人1台ずつ整備されたGIGA端末向けに、それぞれの端末で閲覧することができるよう、動画や写真、イラストを多用し、子どもたちに分かりやすく、興味をひく内容としました。



特徴③

県環境学習指導員など地域や学校で開催される学習会の講師として活動されている方々を、色々な条件で検索し、直接講師を依頼することができます。



特徴④

県内で開かれる環境保全や環境学習に関連するイベント情報を掲載し、実際に活動に参加したい方や興味のある方にも役立ちます。

学校の先生・保護者の皆様へ

本県の豊かな環境を守り、地域資源を活かし共に支えあう「環境と生命の世紀」にふさわしい「ふじのくに」の実現には、次代を担う若年層の環境意識の向上が重要です。

一方で、環境問題は資源循環をはじめ様々な分野に渡るため、学校の授業で取り上げる事が難しいテーマでした。当サイトでは、5つの題材ごとに県内各地域の取組や事例をまとめ、分りやすく学べます。

併せて、環境保全活動団体やイベント情報等を掲載し、実際に活動に参加したい方等にも役立ちます。

市町環境関係部局の皆様にも御活用いただくようお願いいたします。



←ふじのくに環境ラボはこちら

(URL) kankyolab.shizuoka.jp

■お問合せ

静岡県くらし・環境部環境局 環境政策課  
054-221-3597

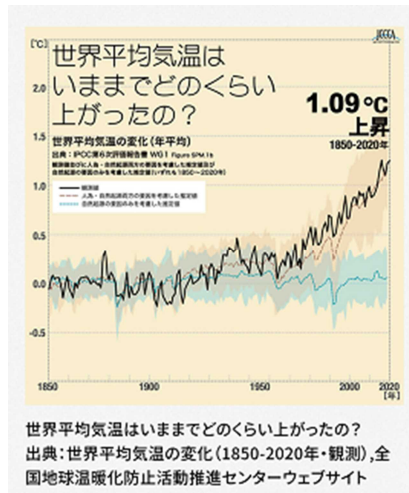
kankyou\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

(地球温暖化 ROOM)

動画で学ぶ ちぎゅうおんだんか 地球温暖化

地球の平均気温は 170年間で何

地球温暖化①



● 農水産物

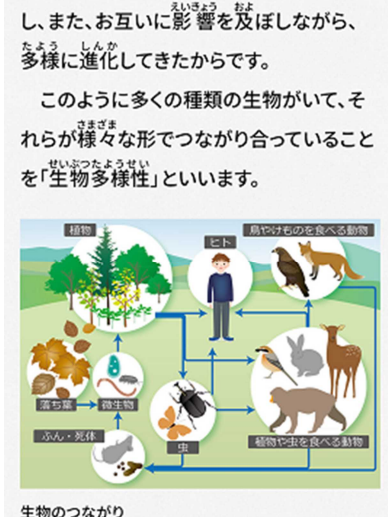
農作物の生産は、高温と多雨、干ばつなど気候変動による影響を受けやすく、気温上昇による作物の生育不良や品質低下の影響が既にみられています。

(自然共生 ROOM)

動画で学ぶ しぜんきょうせい 自然共生

生き物の種が関わっている!?

自然共生①



伊豆半島では、「伊豆半島ジオパーク推進協議会」が、地質遺産の価値を伝えるジオガイドの養成や、ジオツーリズムを通じた活用による教育・普及活動などの取組を行っています。

ユネスコ世界ジオパーク

(資源循環 ROOM)

動画で学ぶ しげんじゅんかん 資源循環

静岡県で出される 年間の量は?

資源循環①



● 食品ロスの状況

日本では、年間で約500万トンの食品ロスが発生しており、一人当たり毎日おにぎり1個分の食品を捨てていることとなります。

このうち、静岡県の食品ロスは約17万トンとされています。

(水循環 ROOM)

どうが  
動画で学ぶ  
みず じゅん かん  
**水循環**



水循環①

この水循環の中で、川を流れる水を浄水場に取り入れ、泥やごみなどを取り除いてから消毒することで、安全で安心して飲める水が作られ、みなさんのお家に送られます。



健全な水循環の姿  
出典：内閣官房水循環政策本部, 2022, 令和4年版水循環白書

● 水道水の使用状況

水道施設が普及するにつれ、使用される水道水の量(給水量)も増加しました。その後は人口の減少、節水器具の普及につれて使用水量は減少傾向となっています



静岡県内の給水量の推移  
出典：静岡県, 2022, R2静岡県の水道の現況

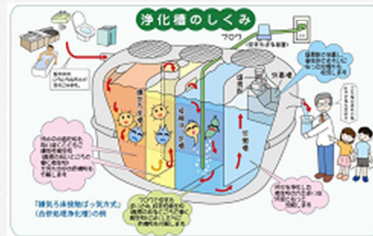
(大気・水 ROOM)

どうが  
動画で学ぶ  
くき みず つち  
**空気・水・土**



空気・水・土①

汚れた水をそのまま川に流しているのではなく、浄化槽という装置を各家庭につけ、きれいな水にしてから川に流しています。浄化槽は家庭の水洗が進んだことから急速に整備されました。



生活排水の浄化

石綿は、髪の毛よりも非常に細く、耐久性に優れた繊維でしたが、飛び散った石綿を人が吸い込むと、その一部が肺の中に残り、癌などの病気を引き起こすことがわかってきました。このため、現在日本では製造・輸入・使用が禁止されています。




<若者の人材育成「高校生カーボンニュートラル・ラボ」>

(1) 事業の概要

## 企画概要

- 1 プロセス重視
- 2 高大連携
- 3 地域連携



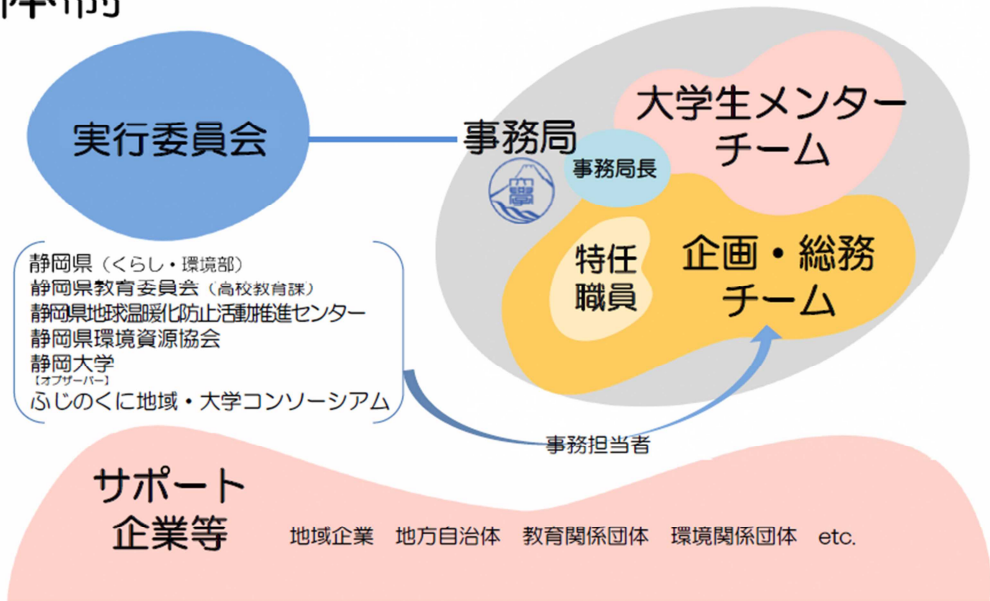
- 気候危機やエネルギー問題に興味関心のある**高校生**が集まり、出会い、チームをつくり（学校ベースではなく個人ベース）
- **脱炭素につながるツール、仕組み、アクション、アプリ、グッズ、作品等を企画・制作**
- そのプロセスに**大学生がメンターとして伴走支援**し、**大学教員がアドバイザー**として参加 ⇒ 「バーチャル・ラボ」を形成
- 高校生チームは2回の**中間カンファレンス**で交流し、学び合い、サポーター（専門家や事業者など）からコメントを受け取る
- 高校生チームは**最終カンファレンス**で、自分たちの企画を発表。サポート企業等から支援が得られれば、実現への道がひらける！
- 上記のプロセスを随時SNSやYouTube等で情報発信「いいね」をクリックすることによって、幅広い高校生・大学生・県民が**応援・評価**に参加





(2) 運営体制

# 運営体制



# 各主体の役割



## 大学生メンター

高校生チームを伴走支援  
SNS等で活動を発信  
アドバイザーとの連絡調整



## 大学教員アドバイザー

高校生チームからのリクエストに応じてアドバイス  
定期的にチームとのコミュニケーションも (任意)  
カンファレンスに参加



## サポート企業等

カンファレンスで高校生チームにコメント  
最終カンファレンス後の企画の実現等をサポート  
場合によっては外部アドバイザーの役割も



## 外部アドバイザー

教員アドバイザーではカバーしきれない分野や事項をアドバイス  
ex. プランナー、クリエイター、起業家



## ねらいと目的



### (3) キックオフ・イベント（第1回ワークショップ）の概要

スケジュール	内容
説明、自己紹介①	プログラム全体の流れなどについての説明と参加者の自己紹介
レクチャー	静岡大学水谷洋一教授より「カーボンニュートラル」について講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルとは</li> <li>・気候変動の影響と政策目標</li> <li>・日本の二酸化炭素排出量</li> <li>・脱炭素アクションの例 など</li> </ul>
自己紹介②	グループごとに自らの興味関心について紹介
グループワーク	レクチャーでの学びや疑問を共有
大学案内	大学生サポーターが静岡大学構内を案内

#### <キックオフ・イベント参加高校生の声>

- ・カーボンニュートラルという言葉の意味を学ぶことができた。
- ・自分たちの暮らしに関わる二酸化炭素排出量が思ったより多いと分かった。
- ・チームでの経験を学校生活や高校卒業後の進路に生かしたい。



キックオフイベントの様子